円借款

案件概要書

2015 年 8 月 25 日

１．基本情報

(１) 国名：ニカラグア共和国

(２) 対象地域名：マタガルパ県及び北大西洋自治区リオ・ブランコ～シウナ間

(３) 案件名：リオ・ブランコ－シウナ間幹線道路橋梁整備計画（Rio Blanco-Siuna Highway Bridge Construction Project）

(４) 事業の要約：本事業は、マタガルバ県及び北大西洋自治区において、リオ・ブランコ－シウナ間幹線道路の橋梁を整備することにより、当該区間の運輸・交通の改善と市場アクセスの改善を図り、もってニカラグアの経済の活性化に向けた基盤づくりに寄与するもの。

２．事業の背景と必要性

(１) 当該国における運輸セクターの開発の現状・課題及び本事業の位置付け

ニカラグアの陸上交通は貨物輸送の68%、旅客輸送の98%を占めており、同国の運輸の根幹となっている。同国の道路の総延長は23,647km、舗装率は約13.2%、雨期に通行可能な道路は全体の68%に留まり、特にカリブ海側のインフラ整備が立ち遅れている。中でも北大西洋自治区は貧困指数が高く、同国政府が開発重点地域に定めている。リオ・ブランコ～シウナ間幹線道路（国道21B号線の約115km）は、首都マナグアから北大西洋自治区に繋がる重要道路であり、同地域で生産される農牧林業生産品の輸送路及び沿線住民のライフラインとして重要な役割を担っている。他方、道路舗装は劣悪で、自然災害に対し脆弱であり、橋梁には通行に危険が伴うものがあるなど、当該道路を経由した輸送のボトルネックとなっている。

本事業で対象とするリオ・ブランコ～シウナ間幹線道路の改修は、我が国の技術協力により策定されたニカラグアの「国家運輸計画」において最優先プロジェクトに挙げられており、同政府が作成した「国家人間開発計画2012－2016」で掲げられている「ニカラグアの変容のための社会、生産、運輸、エネルギー及び観光インフラの整備」にも合致するものである。

(２) 運輸セクターに対する我が国の協力方針等と本事業の位置付け

本事業は、我が国の対ニカラグア共和国国別援助方針の重点分野「経済の活性化に向けた基盤づくり」の「産業振興プログラム」に位置付けられる。運輸セクターでは、現在までに、無償資金協力によって計 24 橋を建設した。

(３) 他の援助機関の対応

世界銀行、米州開発銀行（IDB)、中米統合銀行（CABEI）等が運輸セクターの主要ドナーである。本事業の対象幹線道路のうち、道路部分及び短い橋梁の一部については、CABEI 及び IDB が支援を実施中または支援予定。

(４) 本事業を実施する意義

本事業は、インフラ整備が立ち遅れているニカラグア国内カリブ海側地域における橋梁整備を実施することで、当該地域の運輸交通及び物流を円滑化し、経済開発の促

進に寄与するものであることから、ニカラグア政府の開発政策及び我が国の国別援助方針に合致し、本事業の実施を円借款により支援する必要性・妥当性は高い。

３．事業概要

(１) 事業概要

① 事業の目的：本事業は、マタガルバ県及び北大西洋自治区において、リオ・ブランコ－シウナ間幹線道路の橋梁を整備することにより、当該区間の運輸・交通の改善と市場アクセスの改善を図り、もってニカラグアの経済の活性化に向けた基盤づくりに寄与するもの。

② 事業内容

1）リオ・ブランコ～シウナ間幹線道路に位置するムルクク橋（174m)、リサウェ橋（80m)、ラブ一橋（90m)、及びプリンサポルカ橋（92m）の上下部工架け替え

2）コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工監理等）

③ 他の JICA 事業との関係

対ニカラグア技術協力「国家運輸計画プロジェクト」（2012-2014 年）にて作成したマスタープランで、本事業の必要性を確認済み。

(２) 事業実施体制

① 借入人：ニカラグア共和国（The Government of the Republic of Nicaragua）

② 事業実施機関／実施体制：運輸インフラ省（MTI：Ministerio de Transporte e Infraestructura）

③ 他機関との連携・役割分担：本事業は CABEI 及び IDB が実施中または実施予定の国道 21B 号線改良事業とのパラレル協調融資である。CABEI はリオ・ブランコからムルクク間の道路改修を支援中であり、ムルククからシウナについても支援予定。IDB はリオ・ブランコからムルクク間の 1 部区間（7km）の改修を支援中。

④ 運営／維持管理体制：運輸インフラ省

(３) 環境社会配慮

① カテゴリ分類　□A　■B　□C　□FI

② カテゴリ分類の根拠：本事業は「国際協力機構環境社会配慮ガイドライン」（2010 年 4 月公布）に掲げる橋梁セクターのうち大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ、同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため。

(４) 横断的事項：特になし。

(５) ジェンダー分類：協力準備調査にてジェンダー主流化ニーズを確認。

(６) その他特記事項：ニカラグア政府は STEP による本邦技術を活用した橋梁建設を希望している。耐候性鋼材、落橋防止施設等の適用を検討予定（協力準備調査にて確認)。

４．過去の類似案件の教訓と本事業への適用

過去にフィリピンに対して実施した円借款「幹線道路橋梁改修計画」の事後評価等から、雨季・乾季を考慮し施工時期の妥当性を関係者が連携して確認することで、工期を短縮し、自然災害による事業実施への影響を最小限に抑えることができる旨教訓が得ら

れている。
　本事業においても、雨季を考慮した施工スケジュールの最適化について協力準備調査において検討予定。

以　上

［別添資料］地図

別添資料

リオ・ブランコ－シウナ間幹線道路橋梁整備計画地図